

研究活動・教育向上委員会「社会福祉士養成の改革に関する勉強会」を開催しました。

2018年3月5日に、国際医療福祉大学大学院青山キャンパスにおいて、研究活動・教育向上委員会「社会福祉士養成の改革に関する勉強会」を開催し、13大学25名の皆様にご参加いただきました。

現在、「地域共生社会」の実現に向けて、厚生労働省において様々な検討・改革が実施され、社会福祉士の役割や養成のあり方についても検討が行われています。

今回の勉強会は、検討の最新動向を知ること、本協議会関係者が社会福祉士養成のあり方をあらためて考える場とすることを目的に開催しました。

勉強会では、まず厚生労働省社会・援護局福祉基盤課人材確保対策室 添田正揮社会福祉専門官よりご講演いただきました。「社会福祉士に関する検討の背景と動向」をテーマに、これからの福祉施策の展開（地域共生社会の実現に向けた取組み）、社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会における社会福祉士のあり方に関する検討状況等についてお話しいただきました。

続いて、同志社大学 上野谷加代子教授より、ご自身が委員を務められている厚生労働省社会保障審議会福祉人材確保専門委員会での議論を踏まえ、「社会福祉士養成の課題と今後の方向」についてご講演いただきました。

その後、参加者で情報・意見交換を行いました。参加大学には、今回の勉強会に先駆け、相談援助実習の現状・課題、社会福祉士養成改革への期待等に関する事前アンケートが行われており、それらの結果等を踏まえ、活発な意見交換が行われました。

以上、半日の勉強会ではありましたが、社会福祉士養成の今後のあり方を考える貴重な機会となりました。